

色麻町^{しもたかぎ}下高城地区の（農法）下高城ふあ
あむは機構集積協力金の地域集積協力金
を活用し、平成26年10月8日に誕生し
た農事組合法人だ。地域計画策定や、農業
経営基盤強化促進法等の改正法により、農
地集約を進めていく中で、地域農業の中心
的役割を担っている。

同地区は、保野川と長谷川があり、水源
に恵まれた広大な田園地帯だ。農業者の約
7割が集落営農組合に所属しており、法人
化を条件に「経営体育成基盤強化整備事業」
を活用。1畝ほ場の整備を進め、経理はプ
ール計算に取り組んでおり、法人設立に向
けた下地作りに取り組んでいた。

主な作物は水稻であるが、産地野菜の
「高城ごぼう」は人気が高く、毎年10月
から11月にかけて販売している。販売日
にはゴボウを買い求める人で賑わい、代
表理事の早坂成弘さんは「作り続けてきたか
らこそ皆さんに味を知ってもらえて、多く
のファンも出来た」と話す。

【記事提供】色麻町農業委員会

高城ごぼうを持つ早坂代表理事



ごぼう収穫の様子

